

## 令和7年度事業計画

京都府内に存する埋蔵文化財の調査、研究、保存、活用を行い、文化財の保護を図るとともに、文化財保護の普及啓発に努め、地域文化の発展に寄与することを目的に以下の事業を実施する。令和7年度の事業計画は、次のとおりである。

### 1 発掘調査受託事業

国・京都府等が実施する公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を受託する。令和7年度は、別紙令和7年度発掘調査受託事業予定一覧のとおり、22件の発掘調査（道路建設関係13件、施設建設関係4件、ほ場整備関係2件、防災施設2件）が予定されている。また、市町支援事業は1件である。

また、昨年度からの継続事業については、整理等作業を実施し、一部においては報告書の作成を行う予定である。これらの経費を合わせ1,505,150千円の事業を予定している。一方、平成29年度から継続して京都府教育委員会から委託事業として実施している京都の史跡・埋蔵文化財活用事業（普及啓発事業）及び出土文化財再整理事業を加えると受託事業の総額は1,508,000千円となる。

主要な事業として、近畿農政局の依頼を受けて実施する国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区での亀岡市千代川町千代川遺跡の発掘調査を継続する。また、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所の依頼を受けて実施する大宮峰山道路建設に伴う事業として、京丹後市松田古墳群・松田遺跡・三分井根遺跡などの調査を実施する。さらに、継続調査として京都府建設交通部の依頼を受けて国道423号線建設工事に伴う亀岡市法貴古墳群の調査を実施するほか、井手寺跡が所在する栢ノ木遺跡で調査を実施する予定である。これらのほか、市町支援事業として井手町植田遺跡の調査を計画している。

なお、発掘調査の結果は、遺跡調査報告集第198～200冊として刊行する予定である。

### 2 普及啓発事業

令和7年度は、当調査研究センター設立45周年記念事業として「記念講演会」や「埋蔵文化財セミナー」を実施するとともに、同記念事業として企画展「古代のくらし展（仮題）」をはじめ、「埋蔵文化財リーフレット」「京都の歴史体験教室」等は、引き続き京都府教育委員会からの委託事業として実施する予定である。

一方、当調査研究センターが独自に行う普及啓発事業として、従来から実施している機関誌『京都府埋蔵文化財情報』の刊行や地域・機関連携事業として出前授業ならびに全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西考古学の日」関係事業や共同研究等への取り組みは、継続して実施する。加えて『京都府埋蔵文化財論集第9集』の刊行を予定している。

(1) 設立 45 周年記念事業

○設立 45 周年記念展覧会

「古代のくらし」

会 場：向日市文化資料館

会 期：令和 7 年 10 月 25 日（土）～令和 7 年 11 月 30 日（日）

概 要：旧石器時代から古墳時代までの、日本の生活・文化の変化を府内で出土した遺構・遺物の紹介をつうじて主題別にたどる。主題については、「住まい」、「装い」、「狩り」、「流通」、「生産」、「音と遊び」、「祈り」などを検討している。

○設立 45 周年記念特別講演会

「古代のくらし～府内の歴史を古墳時代までたどる～」

会 場：永守重信市民会館

日 時：企画展開館中の、土・日・祝日（講師が決まり次第調整）

講 師：未定 外部講師 2 名とセンター職員 1 名程度。

○設立 45 周年記念『京都府埋蔵文化財論集』第 9 集

執筆予定者： 50 名（令和 6 年 8 月段階）随時募集

（職員 28 名、理事 5 名、センターOB 7 名、府職員 10 名）

時 代 等：旧石器・縄文 2 名、弥生・古墳 20 名、奈良・平安 11 名、中世 3 名、近世 2 名、その他 12 名

刊 行：令和 7 年 12 月 20 日 ※原稿締切令和 7 年 6 月末日

参 考：40 周年記念論集 44 名執筆 本文 504 頁

(2) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために年 3 回開催しているが、次年度は当調査研究センター設立 45 周年記念事業として、特別講演会と埋蔵文化財セミナー 2 回を古代のくらしに焦点をあてて実施する予定である。

158 回は、令和 7 年 8 月開催予定

159 回は、令和 8 年 2 月開催予定

(3) 機関誌

当調査研究センター及び府内関係機関等の発掘調査状況の速報や当面する埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年 2 回刊行する（第 149・150 号）。

(4) 埋蔵文化財リーフレット（京都府教育委員会委託事業）

『もっと知りたい京都の遺跡』と題して、府内の発掘調査の成果を発信するリーフレットを年 2 回発行する。（第 17 号・18 号）

・A 3 版、二つ折り、カラー刷り

(5) 地域・機関連携 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、各教育局、市町村及び府内小・中学校、自治会など

と連携して、出前講座や発掘調査体験授業、夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう！」（京都府教育委員会委託事業）を通して積極的な文化財保護の啓発を行う。あわせて、ホームページ及び SNS で啓発事業の活動報告を行う。

(6) 「関西考古学の日 2025」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟 10 法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日」に関連して、当調査研究センターにおいても京都の歴史を紹介する講座を開講する予定である。

(7) 大中遺跡まつり（古代体験フェスティバル）での考古学体験ブース

兵庫県立考古博物館が運営する大中遺跡まつり（古代体験フェスティバル）において考古学が体験できるブースを出展する。

(8) 共同研究

当調査研究センターにとって必要な調査研究を行い、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。

(9) 出土文化財再整理事業（京都府教育委員会委託事業）

出土品の再整理を行い、公開・活用が可能な状態にする。

### 3 その他

(1) 専門研修

文化庁主催の講習会をはじめ全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが主催する研修会などに参加する。また、独立行政法人奈良文化財研究所による専門研修にも参加し、職員の資質向上に取りくむ。また、公益財団法人公益法人協会が主催する会計セミナー等にも参加する。

(2) 一般研修

人権研修推進委員会が中心となっておこなう職場研修のほか、京都府教育庁行政、人権問題研修や公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座にも積極的に参加する。

(3) 遺跡検討会

大きな調査成果をあげ、報告書刊行に向けて整理作業が進む事業について、職員とともに理事及び関係機関の協力を得て、遺構・遺物の検討を行い、刊行予定の報告書に検討内容を反映させる。

(4) 講師派遣

京都府立大学からの講師派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ」を行い、土曜日に職員を交代で派遣する予定である。また、同志社大学、佛教大学、京都橘大学においても講師派遣依頼により職員を派遣する予定である。